生活保護費の大幅カットを推進する自民党の政府改革で、制度改革の動きが一気に加速している。給付の水準の引き下げに加え、法改正の動きも本格化。不正受給対策として自治体の調査権限を拡充するほか、制度強化の方向で調整が進む。「働く方が多くなる」という国の不平感を解消し、本来の意味での「最後のセーフティーネット」を守るべく努力ができるのか。若者層の実態の受動問題を機に、見直し議論が旗振り役となった同党の片山さつき参院議員に今後の方向性を聞いた。

行き過ぎた既得権は正するのが政治

自民党のプロジェクトチームの生活保護改正案について説明する片山さつき参院議員（東京都千代田区木場）

自民党

政権どう変える？

現物給付、過剰診療禁止など提示

生活保護費の大幅カットを推進する自民党の政府改革で、制度改革の動きが一気に加速している。給付の水準の引き下げに加え、法改正の動きも本格化。不正受給対策として自治体の調査権限を拡充するほか、制度強化の方向で調整が進む。「働く方が多くなる」という国の不平感を解消し、本来の意味での「最後のセーフティーネット」を守るべく努力ができるのか。若者層の実態の受動問題を機に、見直し議論が旗振り役となった同党の片山さつき参院議員に今後の方向性を聞いた。

に行き過ぎた既得権は正するのが政治

自民党のプロジェクトチームの生活保護改正案について説明する片山さつき参院議員（東京都千代田区木場）

自民党

政権どう変える？

現物給付、過剰診療禁止など提示

生活保護費の大幅カットを推進する自民党の政府改革で、制度改革の動きが一気に加速している。給付の水準の引き下げに加え、法改正の動きも本格化。不正受給対策として自治体の調査権限を拡充するほか、制度強化の方向で調整が進む。「働く方が多くなる」という国の不平感を解消し、本来の意味での「最後のセーフティーネット」を守るべく努力ができるのか。若者層の実態の受動問題を機に、見直し議論が旗振り役となった同党の片山さつき参院議員に今後の方向性を聞いた。